

アジア地域臨床獣医師等総合研修事業 秋期全体研修の実施

平成28年度から日本中央競馬会特別振興基金助成により実施しているアジア地域臨床獣医師等総合研修事業については、本誌第72巻第6号で紹介したとおり、今年度4月から第3期研修生16名（フィリピン、台湾、ベトナム、韓国、中国、ミャンマー、モンゴル、スリランカ、インドネシア、タイ、ネパール、キルギス、バングラデシュより採用）を迎え、全国獣医学系大学のうち、北海道大学、帯広畜産大学、酪農学園大学、北里大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、麻布大学、日本大学、大阪府立大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、農研機構動物衛生研究部門において、家畜の越境性感染症や臨床獣医療等に関する研修を実施している。このたび令和元年9月13～25日の日程で、秋期全体研修を国内関連9施設で実施した。

- ①「共立製薬(株)先端技術開発センター」において、ワクチン製造工場、製品の検品・保管工程について見学した。
- ②「農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門」において、同部門の国内外における動物感染症防除のための取組みについて学んだ。
- ③「横浜市繁殖センター」において、マレーバク、カンムリシロムクといった絶滅危惧種の繁殖に向けた取組みと、人工授精のための凍結精子保存等について学習した（図1）。
- ④「瑞穂農場那須支店」において、酪農・畜産、飼料

作物生産、受精卵移植まで幅広く運営されている、メガファームの実情を学んだ（図2）。

- ⑤「JRA美浦トレーニング・センター」において、競走馬の調教、馬の先端的診療施設、蹄鉄加工工程について見学した（図3）。
- ⑥「北海道NOSAI研修所」において、日本の農業共済システム、BCSの測定方法について実習を含めて学んだ（図4）。
- ⑦「酪農学園大学」において、附属動物医療センター等の施設を見学した（図5）。
- ⑧「農林水産省動物検疫所成田支所」において天浪検疫場及び税関検査場を見学し、わが国の動物検疫について学んだ。
- ⑨「東京都芝浦食肉衛生検査所」において、生体から枝肉まで各工程における検査と、同所内での食品衛生上必要な精密検査について学習した。

また、今年度から新たな試みとして、各国における獣医療及び来日後の研究成果を報告するために研修生による発表会を実施した（図6）。

さらに、日本文化への理解を深めるため、京都を訪問し茶道文化体験等を実施した。

最後に、今回の研修において、ご多忙のところ快く研修生の見学を受け入れていただいた9施設の関係者にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。



図1 カンムリシロムク繁殖施設を見学する研修生



図2 瑞穂農場那須支店で説明を受ける研修生



図3 競走馬診療所を見学する研修生



図4 BCSの測定について学ぶ研修生



図5 酪農学園大学附属動物医療センターを見学する研修生



図6 研修生による発表会の様子